

新規項目受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、特異的 I g E 半定量・定量〔CAP シングルアレルゲン〕に新たに1項目が追加になりますので、下記のとおりご案内申し上げます。

敬白

記

■受託開始日 令和3年10月18日（月）受付分より

■受託開始項目 特異的 I g E 半定量・定量〔CAP シングルアレルゲン〕
Asp f 1（アスペルギルス由来）（項目コード：2321）

■検査要項

検査項目	検体量 (mL) 保存法	容器	検査方法	基準範囲	実施料 点数	所要 日数	備考
2321 特異的IgE半定量・定量 Asp f 1 (アスペルギルス由来)	血清 0.3 冷蔵 10 アレルゲン (血清 1)	1	FEIA	U _A /mL 陰性 0.34 以下 下表参照	110	2~3	判断料 免疫学的検査:144 点

注) アスペルギルス感作症例からアレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) 濃厚の疑い例の把握を補助する体外診断用医薬品であり、ABPA 確定診断に用いるものではありません。検査にて陽性と判定された場合にも他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいた専門医による確定診断が必要です。また、陰性の場合にも ABPA の可能性を否定するものではありません。

項目	クラス	0	1	2	3	4	5	6
CAP シングルアレルゲン判定基準	範囲 U _A /mL	0.34 以下	0.35~0.69	0.70~3.49	3.50~17.4	17.5~49.9	50.0~99.9	100 以上
	判定	陰性	疑陽性	陽性				

■臨床的意義

Asp f 1 は、アスペルギルスアレルゲンコンポーネント (*Aspergillus fumigatus* から抽出されるタンパク質の中の単一のタンパク質) の1つであり、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA: Allergic bronchopulmonary aspergillosis) の発症原因である *Aspergillus fumigatus* の主要アレルゲンです。アスペルギルス感作喘息群 (ABPA が否定されたアスペルギルス検査陽性の喘息症例) 及び ABPA 群における臨床性能比較では、Asp f 1 は臨床的特異度に優れています。

Asp f 1 への感作はアスペルギルスの気道内腐生を示唆することから、ABPA の診断補助として治療判断に有用な検査です。また、アスペルギルスと Asp f 1 の両項目を組み合わせることで、より正確な診断に寄与します。

■依頼方法

マークポジションの設定はございませんので、(A) 検査依頼書または (C) 検査依頼書の備考欄にご記載下さい。

以上

*お問合せ先：029-837-2721 総合インフォメーション
2021-A-045